

「802. 11ah推進協議会」の発足と会員募集について

IEEE802. 11ah^{※1}(Wi-Fi HaLow)は、920MHz帯の周波数を利用する通信手段のひとつであり、特にIoTの通信システムとして様々な分野で活用が期待される新しい種類のWi-Fi規格です。

920MHz帯を利用した通信システム(LPWA^{※2})は国内でも既に活用されていますが、802. 11ahは、「ワールドワイドなデファクト規格(Wi-Fi)ベース」「IP通信が可能」「フルオープン」「自営設置が可能」「数Mbps程度のスループットが出る可能性」という特徴を持つことから、より多様なユースケースへの適用を実現し、IoTを活用した社会的課題の解決手段の選択肢拡大や利便性向上に寄与します。

「802. 11ah推進協議会」は同規格の日本国内での利用実現に向け、関係する企業・団体などが自主的に取り組む場として発足し、技術検討、実証実験、情報収集、関係機関への働きかけ及び普及促進活動を推進していくこととし、本日より会員を募集開始します。

<注>日本国内での802. 11ahの利用条件等については、現時点では確定していません。

※1:802. 11ahの概要は【別紙1】に記載

※2:Low Power Wide Area の略語で、消費電力を抑えて長距離の通信を実現する通信方式

1. 活動内容

- (1)802. 11ahの日本国内利用実現に向けた技術検討、実証実験、情報収集、関係機関への働きかけ等
- (2)802. 11ahの普及促進活動

2. 発足予定日

2018年11月7日

3. 準備局を構成する企業・団体

【別紙2】のとおり

4. 会員の募集

802. 11ah推進協議会のホームページにて行います。

※ご不明な点があれば、802. 11ah推進協議会準備局 事務局までお問い合わせください。

5. ホームページ

URL:<https://www.wlan-business.org/11ah-kyougikai/>

以上

<本件に関する問い合わせ先>

802. 11ah推進協議会準備局
担当 松波
(無線 LAN ビジネス推進連絡会内)
TEL:03-5809-2848

IEEE802. 11ahの概要

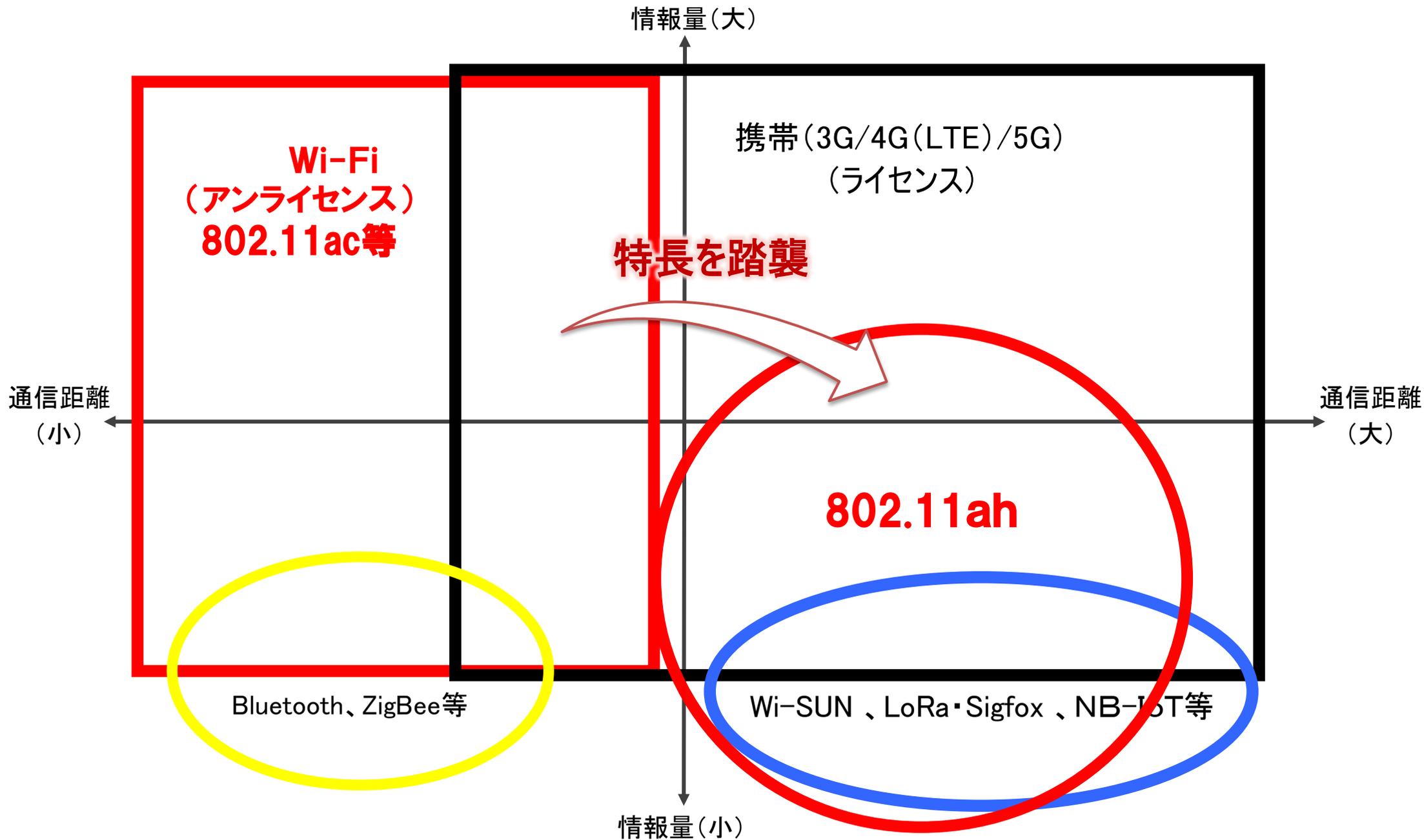
■一般的なLPWAの通信方式と同様に「小電力」「長距離」の通信が可能であり、IoT領域での活用に適しています。

■以下の大きな特徴を有しており、ユースケースや関連ビジネスの拡大が期待されています。

特徴		詳細
①	ワールドワイドのデファクト規格ベース	Wi-Fi Allianceが低消費電力、長距離伝送の無線LANとしてWi-Fi HaLowを発表(2016年)
②	IP通信が可能	通常のLANのような利用が可能
③	フルオープン	IEEEで規定(2016年)されている規格
④	自営設置が可能	専用サーバ等が不要であり、従来のWi-Fi同様に家庭やオフィスに自由に導入可能。また、DIYで設置が容易
⑤	数Mbps程度のスループットの可能性	常時接続かつ数Mbpsのスループットが期待できる(画像の送信やファームウェアのアップデート等、幅広い分野での利用が見込まれる)

<注> 日本国内での802. 11ahの利用条件等については、現時点では確定していません。

(参考) 既存ワイヤレスシステムとの関係性 ※イメージ



【別紙2】802.11ah推進協議会準備局を構成する企業・団体

(2018/10/23現在)

企業名・団体名
株式会社アイランドシックス
セコム株式会社
東日本電信電話株式会社
富士通株式会社
無線LANビジネス推進連絡会
横河電機株式会社

※ 企業名・団体名50音順